

令和6年度 熊本県相談支援従事者 現任研修

事前課題

勤務先名		
現職名		
受講番号・グループ		班 ※演習1日目(7/5)に記入してください
氏名		
提出課題チェックリスト <input checked="" type="checkbox"/>	書式	提出期限
	同意書	令和6年6月24日(月)必着 1部事務局へ郵送
	実践報告書(書式1-①)	令和6年6月24日(月)必着 1部事務局へ郵送 ↓ 令和6年7月5日(金)持参 コピー6部
	実践報告書(書式1-②)	
	地域変革のためのヒアリングシート(書式2)	
ストレングスアセスメントシート(書式3)		

※ 障害者相談支援従事者研修テキスト 現任研修編(中央法規出版発行)

の記入要領(P9~18)を参照のうえ作成してください

※ 表紙としてこの用紙を添付し、課題と一緒にホッチキスで左上をとめてご提出ください

※ 提出期限:令和6年6月24日(月)必着

※ 演習1日目(7/5)に6人分を印刷して持参してください

事例検討やスーパービジョンを行うため、以下のような事例は避けてください。

- 他人の事例(セルフプランを含む)
- 本人からの事例提出の同意が得られない事例
- 自分に何の迷いも悩みもない事例
- 一時的、短期的な支援を行った事例
- 虐待や要対協の事例
- 急な病状悪化、自己破産など緊急介入を要する事例
- 触法、犯罪に関係する事例
- 自分とクライアントとの関係が極端に悪化している事例
- フォーマルサービスでしか対応できない事例
- 介護保険のみ利用の事例

令和6年度

熊本県相談支援従事者現任研修

事前課題ガイダンス

現任研修の目的

現任研修は資格の更新を手段に、
相談支援専門員がソーシャルワークの担い手として必要な

『地域を基盤としたソーシャルワーク実践』

が行える技術を身につけるという観点（目的）を重視して
行なわれるものです。

現任研修の獲得目標と構成

- ① 個別相談支援の基本を理解し、それを基盤とした実践を行うことができる。

【意思決定（支援）を通して生きがいや自己肯定感を高める支援（ストレングス）、
相談支援の技術と能力の獲得】

- ② 多職種連携及びチームアプローチの理論と方法を学び、実践することができる。

【障害福祉サービスのみならず、チームアプローチ（多職種連携）を実践するための
技術と能力の獲得】

- ③ コミュニティワーク（地域とのつながりやインフォーマルサービスの活用、社会資源の開発等）の理論と方法を理解し、実践できる。

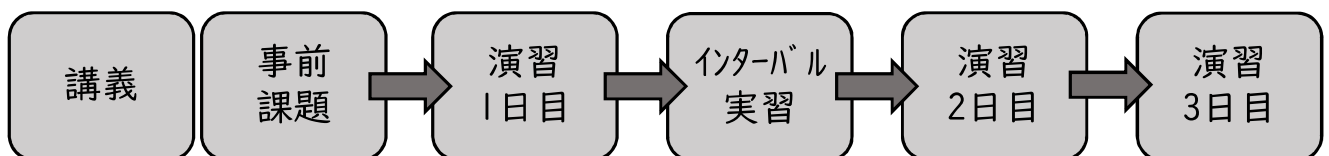
【個別課題から地域課題への展開、基幹相談支援センターや自立支援協議会と連携した
地域に即した相談支援の実践力の獲得】

- ④ スーパービジョンの理論と方法を学び、実践事例を用いてグループスーパービジョンを体験することで、自らの支援について助言・指導を受けることの重要性を理解する。

【基幹相談支援センターなど地域のOJT体制の活用】

現任研修の構成

◇現任研修は…



『講義』と『事前課題』、3日間の『演習』、
そして演習期間中の『インターバル実習』で構成されています。

『事前課題』はご自身の実践についてまとめていただくものです（重要）。

『インターバル実習』では演習をもとにご自身で取り組みつつ、
地元の基幹相談支援センター等に出向いて、実地研修（OJT）を受けていただきます。

事前課題について

- ◇『事前課題』は
ご自身の演習の効果や達成に大きくつながるので重要です。
 - ◇ご自身の『実践事例』をもとに、
『事前課題』の表紙にある記載事項をよく読んで取り組んでください。
 - ◇作成に際しては、氏名、年齢、その他の固有名詞など
対象者が特定できないように情報を匿名化してください。
注：対象者名は『A氏』『S氏』などのイニシャル表記
年齢は『20代』『30代』など（10代以下は実年齢表記）
その他は『〇〇病院』『〇〇事業所』『〇〇町』など
 - ◇『障害者相談支援従事者研修テキスト 現任研修編』
8ページ～18ページを参考に取り組んでください。
-

事前課題のポイント

- ◇『事前課題』の表紙に『実践事例』を選ぶ際の注意点がありますのでご確認ください。
- ◇『実践事例』を選ぶ際には、『意思決定支援』『多職種連携』『コミュニケーションネットワーク』この3つのキーワードに焦点を当てつつ、『ご自身が感じる支援の難しさや困り感』もイメージして選考してみるとよいでしょう。
- ◇『事前課題』に取り組む際に、ご自身の日頃の視点の特徴や当該事例には該当しない項目などにより、記載に濃淡が生じることもあるかもしれません。実践をふりかえり、それらを再認識しながら記入してみてください。空欄がある場合はその理由を記載しておくのもよいでしょう。
- ◇演習を通じた新たな気づきについて追記する機会も一部用意しています。

受講の心構え

◇当日の体調管理には充分ご留意ください。

◇ご自身で可能な範囲で、出来るだけの準備をされることで当日の演習がきっと楽しみになるはずです。

◇当日の予定をできるだけスッキリさせて臨んでいただくことで、演習への集中力が格段に増すことでしょう。

当日元気にお会いできることを
一同楽しみにお待ちしております。